



「コニカミノルタ エコ俳句大賞2010」入賞作品が決定

2010年11月29日

コニカミノルタホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、社長：松崎 正年、以下 コニカミノルタ）は、環境に関する思いを五・七・五のリズムにしたためた「コニカミノルタ エコ俳句大賞2010」の入賞作品を決定いたしました。

本コンテストは、より多くの皆さまにご参加していただくため、俳句特有の「季語」や、多少の「字余り・字足らず」にはこだわらず、『省エネ』と『エコ（環境）』をテーマに募集いたしました。応募総数は9,367句におよび、2005年から毎年ご応募いただいていた中で、最多となりました。家庭や職場、地域で省エネやエコロジーへの取り組みが増える中、地球環境への関心の高まりがエコ俳句の応募数にも表れているようです。

入賞作品および予選通過作品はコニカミノルタのWEBサイト (<http://konicaminolta.jp/pr/eco>) でご覧いただけます。また、12月9日から11日まで東京ビッグサイトで開催される日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2010」のコニカミノルタブース（ブース No. 3-049）でも掲示いたします。

【エコ俳句大賞】

「風薫る グリーンカーテン 軒つらね」（京都府 笹谷豊子 様）

さわやかな緑が広がる中を、初夏の風が吹きわたっています。こんなグリーンカーテンの連なる町に住むのは素敵ですね。

【一般部門優秀賞】

「息子から おさがり届き 若返る」（岐阜県 トマト 様）

「おさがり」は年上から年下に譲るばかりではありません。おしゃれな息子さんが着なくなった服を、お父さんが活用しています。

【中高生部門優秀賞】

「扇風機 エアコンダメよと 首を振る」（東京都 そらまめさん 様）

ゆっくり首をふる動きが人の仕草のように感じられる扇風機は、省エネのための強い味方になってくれそうです。

【小学生・幼児部門優秀賞】

「色々な 家族みんなの マイボトル」（福島県 天野 夏星 様）

子供の目から見たそれぞれのマイボトルのデザインに、家族一人一人の姿が映って見えているように思われます。

